

市議会だより

No.64



2021年10月16日発行
発行 仙北市議会・
編集 仙北市議会・
広報編集 広報編集
特別委員会

8月定例会、議員賛否
予算常任委員会
一般質問
総務文教常任委員会

P2～3

P4

P5～12

P13

市民福祉常任委員会
産業建設常任委員会
いきいき広場・第5回臨時議会・
編集後記

P14

P15

P16

■神代こども園の元気な
たんぽぽ組(3歳児)のみなさん





— 8 月定例会 —

令和3年度一般会計補正予算(第5号)

補正額4億6,206万円を可決 累計214億7,156万円に
 小中学校での新型コロナ感染防止対策や仙北市プレミアム宿泊支援事業などの
 新型コロナ対策費や冬期間の除排雪費などの補正予算を可決

第4回定例会が8月11日から9月6日までの27日間の会期で開催され、冬期間の除排雪経費などを盛り込んだ令和3年度一般会計補正予算（第5号）、令和2年度決算や押印の廃止に関する条例案など、報告関係3件、条例関係6件、予算関係3件、決算認定関係12件、その他1件、人事関係1件、諮問関係1件の計27件が審議されました。議会初日には、各議案の上程の後に、教育委員会委員1名の人事案が可決され、人権擁護委員1名の諮問が原案どおり答申された。その後本会議、各常任委員会審査を経て、令和3年度の一般会計補正予算は、市内小中学校における新型コロナ感染防止対策として、消毒液、マスク、パルスオキシメーターや体温を感知するサーマルカメラの購入費や、コロナ禍により低迷している市内の観光業を支援するための宿泊割引券の発行経費などの新型コロナウイルス対策経費や当初予算に計上できなかった冬期間の除排雪費4億3,178万円などが可決されております。加えて、市立角館こども園を来年4月1日から民間移譲することに伴う幼保連携型認定こども園条例を廃止する条例案や今年度末で田沢湖保健センターを廃止する条例案も賛成多数で可決されました。

8月定例会 可決・認定された主な議案

- ◇押印を求める手続の見直し等のための関係条例の整備に関する条例制定について
- ◇仙北市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市保健施設条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市立幼保連携型認定こども園条例を廃止する条例制定について
- ◇令和3年度仙北市一般会計補正予算（第5号）
- ◇令和3年度仙北市集中管理特別会計補正予算（第1号）・田沢財産区特別会計補正予算（第1号）
- ◇令和2年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和2年度仙北市集中管理特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和2年度仙北市国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和2年度仙北市生保内・田沢・雲沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和2年度病院・温泉・水道・下水道事業会計決算認定について
- ◇仙北市過疎地域持続的発展市町村計画の策定について
- ◇仙北市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（1件）
- ◇人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（1件）
- 意見書「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」
- 意見書「豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書」
- 仙北市選挙管理委員（4人）・選挙管理委員補充員（4人）の選挙について

本会議・予算常任委員会 8月定例会で審議された補正予算

■一般会計補正予算 主な内容

秋田内陸線イベント列車整備事業費補助金	500万円	県、北秋田市と共にお座敷列車の改造費用を支援
低コスト技術等導入支援事業費補助金	5,325万円	省人化・低コスト化に必要な機械・設備の導入等を支援
農地集積加速化基盤整備事業費	1億1,166万円	生保内南地区中心経営体集積促進に対する交付金
観光トイレのコロナ安全対策事業費	△330万円	3月補正予算での観光トイレ自動水栓化事業の残金
2021 仙北市プレミアム宿泊支援事業費	1,076万円	秋田県民が仙北市内の宿泊施設で使える割引券の発行
冬期交通対策費	4億3,178万円	冬期間の除排雪費用
小学校保健特別対策事業費	520万円	コロナ対策の消毒液、マスク、パルスオキシメーター、サーマルカメラ等の購入費
中学校保健特別対策事業費	400万円	コロナ対策の消毒液、マスク、パルスオキシメーター、サーマルカメラ等の購入費
火除け地復元調査事業費	292万円	防壁の役目をした土塁の痕跡確認や石積み状況などの確認調査費

本会議・予算委員会での質疑

秋田内陸線の経営状況と今後の見込みは？

質問 イベント列車整備事業の内容を伺う。また、経営状況と今後の見込みについても伺う。

答弁 お座敷列車「マタギ号」の車体塗装、座椅子・テーブルの改修、音響設備の更新である。総額5千万円で国、県、北秋田市と支援する。令和2年度の決算は、コロナ禍による観光利用の落ち込みを仙北市などからの経営維持補助金や国のコロナ関連交付金で補填し経常収支損失額が例年並みの1億4千万円となった。

今後は、伊勢堂岱遺跡の世界文化遺産登録を追い風に、イベント列車活用による観光利用や教育旅行の誘客等に努めるとしている。

火除け地復元調査の内容と今後のスケジュールは？

質問 具体的な調査内容と旧角館庁舎解体後のスケジュールを伺う。

答弁 防壁の役目をした高さ約3mの土塁の痕跡確認及び、火除け周りの水路の石積み状況

況の確認調査を行う。また、火除け地全体を俯瞰的に把握するため、平面測量と発掘調査の地層断面を図面化する現地測量を実施する。

調査解体後の令和4年度には、調査結果を報告書としてまとめ、「火除け復元検討委員会（仮称）」にて、復元の在り方について提言をいただく予定である。

3月の補正予算で480万円の事業が8月で330万円の減額補正とはどうしたことか？

質問 3月補正予算で新型コロナウイルス感染症予防対策として、観光トイレの水栓自動化することになったが、330万円の減額補正の理由について伺う。

答弁 市が所有管理する公衆トイレの水栓自動化工事であるが、当初は配管工事と電気配線工事を見込んでいたが、電気配線工事が不要な乾電池式や既存のコンセントを利用した充電式の自動水栓に変更したため減額することになった。短期間での変更で申し訳なく思っている。

議決結果/議員賛否 令和3年 第4回 仙北市議会定例会(招集日:8/11 最終日:9/6)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	件 名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	薮生会								く市ラフ民				公明党	共産党	無党派		
					小林幸悦	高橋 豪	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	稲田 修	伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一				小木田 隆	熊谷 一夫
議案第 68 号	令和2年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について		9/6	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	欠	賛	反	反
議案第 70 号	令和2年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		9/6	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	反

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

本会議・予算常任委員会 令和2年度決算が審査される

令和2年度 一般会計決算額

①歳入総額 264 億 4,975 万円 ②歳出総額 260 億 1,776 万円 ①－② 収支 4 億 3,199 万円

8 月定例会では令和 2 年度の決算についても審査されました。各常任委員会での分科会審査を経て、予算常任委員会と本会議において各決算が賛成多数で認定されました。

令和2年度一般会計・特別会計決算収支状況

(単位：円)

区分	歳入 ①	歳出 ②	形式収支 ③ (①－②)	翌年度に繰り越すべき財源 ④	実質収支 ⑤ (③－④) 下段前年度	単年度収支
一般会計	26,449,750,487	26,017,763,727	431,986,760	23,125,000	408,861,760 453,714,558	-44,852,798
特別会計	8,199,214,332	7,782,628,704	416,585,628	0	416,585,628 422,949,567	-6,363,939
内 訳	集中管理	3,900,055,093	3,900,055,093	0	0 0	0
	国民健康保険 事業勘定	3,238,419,127	2,868,402,407	370,016,720	370,016,720 369,275,270	741,450
	国民健康保険 神代診療施設	82,334,101	82,276,116	57,985	57,985 23,608	34,377
	後期高齢者医療	341,156,889	339,936,283	1,220,606	1,220,606 1,018,963	201,643
	介護保険	438,245,032	438,207,007	38,025	38,025 374,980	-336,955
	生保内財産区	123,306,781	96,956,824	26,349,957	26,349,957 32,180,121	-5,830,164
	田沢財産区	63,409,854	45,273,014	18,136,840	18,136,840 18,169,127	-32,287
	雲沢財産区	12,287,455	11,521,960	765,495	765,495 1,907,498	-1,142,003
総 計	34,648,964,819	33,800,392,431	848,572,388	23,125,000	825,447,388 876,664,125	-51,216,737

単年度収支とは…前年度の繰越金も今年度の歳入額に含まれているため、今年度の収支から前年度繰越金を差し引いた純粋な収支。
単年度収支が黒字の場合は、新たな余剰金が生じたことを意味し、逆に赤字の場合は、過去の余剰金を使い果たしたことを意味します。

地域運営体活動推進交付金の不用額が多いのは何故か？
質問 令和 2 年度の地域運営体活動推進交付金の当初予算額 3,600 万円のうち、不用額が 1,393 万円あるが、新型コロナウイルスの影響なのか伺う。また、各運営体の事業内容が市の事業内容と重複する部分が多いように感じられるが見解を伺う。
答弁 不用額が多いことについては、地域の行事等や高齢者のふれあい事業が、コロナ禍により密を避けての中止が多かったことが主な原因である。市の事業との重複については、地域運営体交付金交付規則において、当該事業が他の市補助金と重複する場合は、地域運営体交付金の対象しないと明確に区分している。

令和 2 年度 一般会計決算 予算委員会の質疑から 田沢湖黒沢工業団地は今後どうなる？
質問 令和 2 年度の企業誘致対策事業費における企業誘致活動の内容と黒沢工業団地の今後の見通しを伺う。
答弁 令和 2 年度は、コロナ禍により首都圏等への企業訪問はできなかったが、東京にある県企業立地事務所に派遣の市職員が都内の企業を 19 社程訪問している。黒沢工業団地については、現在中断のハレタス田沢湖の植物工場事業の実現を第一に考え、フランチャイズ親企業と事業見直しに向けた協議を進めている。

公共施設等の平成29年度から 令和2年度までの維持管理費削減額は

蒼生会 門脇晃幸 議員



市長

実際の削減額は470万円程度である

計画と実際の削減額の乖離をどうするのか

質問 仙北市公共施設等総合管理計画個別施設計画では、平成29年度から令和元年度まで、年間2億5千万円ほど維持管理費が削減されるとある。令和2年度までの削減額を伺う。

答弁 計画通り除却等が進めば、年間約2億5千万円程度削減が見込めるという内容で、実際の削減の額は470万円程度である。実際に削減されているような誤解を招く表記に反省をしている。

質問 総延べ床面積は、どのように推移しているのか。

答弁 令和3年3月の個別施設計画策定時で、対象施設が340施設、対象延べ床面積が23万1,675㎡である。平成29年度から令和元年度は、減少傾向にあったが、令和2年度は、新角館庁舎、総合給食センター等の増加分があり、減少分は1,888㎡となつて

いる。

旧市立角館総合病院解体工事

質問 旧市立角館総合病院は、喫緊の除却となっている。現状とスケジュール、また解体費用について伺う。

答弁 旧角館総合病院は、平成30年度に、管理棟も含めた解体工事の実施設計は完了しているが、土地履歴調査、土壌汚染調査が必要であったこと、総合給食センター、新角館庁舎建設が重なり、令和4年度の着工を目指している。今年度は土壌汚染概況調査を



■解体が先延ばしになっている
旧市立角館総合病院（左側が管理棟）

業務委託している。

また、昨年度、管理棟を公文書センターとする案を提示したが、他の施設や公文書センターの在り方を再検討し、今年度中に基本計画を策定する予定である。仮に管理棟を公文書センターとして活用する場合、改修費を追加しても解体費用が8千万円ほど減額になる見込みであるが、規制が強化されたアスベスト調査結果を反映させるなど、現在の解体実施設計の変更が必要になり、1年から2年は延びる可能性がある。解体費用は、実施設計完了時で約5億7千万円である。

財政から見る学校施設長寿命化計画

質問 計画では、概ね5年以内に長寿命化改修工事の実施を検討するところがあるが、具体的検討に入ったのか。

答弁（教育長） 生保内小学校、神代中学校、西明寺中学校は、築年数40年以上であるが、構造躯体は健全で耐震も基準を満たしており、長寿命化が可能であることが確認された。屋根や屋上、外壁等は劣化が見られ修理を行っている。長寿命化改修工事に、5

年間で総額47億円、年平均9億5千万円の予算が必要となる。学校の統合・再編等と一体となって考えていく必要がある、まだ具体化されていない。

質問 いつ頃から始めるのか。

答弁（教育長） まちづくりと大きく関連するので、市当局と、まちの将来像を含めて協議していく必要がある。学校適正配置が定まったところで長寿命化計画1年目となる。

質問 統合・再編を行政主導で、ある程度の方角性を明確にしてリードしていく必要があるのではないかと。また市の財政を考えた時、どうしても避けて通れないのではないかと。

答弁（教育長） 統合問題については、国の基本的な方針、仙北市学校施設長寿命化計画、費用対効果、住民や保護者の思いもあるが、子どもたちにとって何が一番幸せなのかの視点を第一として議論を重ねていきたい。

（平岡裕子記）

豪雨等に対応しきれない 危険個所の対策は

蒼生会 眞崎 寿浩 議員

市長

様々な事業を進めながら ハザードマップも最新のものとする

安心安全なまちづくりについて

質問 静岡県熱海市の土石流災害を受け、国では盛土調査を実施し8月をめどに公表するとしているが、仙北市の実態はどうか。

答弁 盛土の全国調査は、開発行為に関する調査、土砂災害警戒区域の流域内における実態調査、盛土による災害防止の総点検に関する事前調査があったが、仙北市では該当する個所は無いという回答をしている。

質問 急峻な地形により、豪雨等に対応しきれない危険個所は多くあると思うがその対策は。

答弁 土砂災害警戒区域等の指定個所では、県単砂防事業や火山砂防事業、治山堰堤事業等を展開して頂いている。急峻な地形による危険個所はハザードマップで確認できるが、最新のものではないため秋田県から最新情報の提供を受け11月までには更新することとしている。

質問 危険個所の解消に向けた要望対応は万全か。

答弁 百年に一度、五十年に一度の災害にも対応できると

いう基準で、国・県の様々な事業導入がなされてきた。

答弁（建設部長） 土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地では16ヶ所・土石流個所では27ヶ所・地すべり個所では2ヶ所の施工が完了している。火山砂防系では4ヶ所の事業が進んでおり、今後もし引き続き国・県への要望を実施し危険個所の除去に努めたい。

神代地区の水道計画について

質問 仙北市水道事業基本計画が策定されたが、神代地域において計画から除かれた地域への対応は。

答弁 水道未普及地域解消の整備計画決定等に当たっては、住民アンケート調査による加入見通しや水質、水量の不具合等の緊急性、そして費用対効果を加味して総合的に判断している。この基本計画は5年ごとに更新、見直しを行い、計画地域等に関しては、住民意向調査を実施の上事業化の判断をしている。事業会計の健全化等を考えると、高い投資に対して低い回収率という厳しい経営状況の改善が必

要であり、基本的には、地域の代表の方々と話し合い、加入率が見込めるところを優先的に進めている。

質問 工事の進捗状況や整備の方向性を住民に説明する必要があると思うが。

答弁 神代地区には、集落の

代表などで構成された「神代地域上水道を実現する会」という組織があり、地元と行政の相互協力で事業を進めている。今後も現状の共有を図り、地元の皆様にしっかりと情報を提供したい。

（武藤 義彦 記）



■水道工事が始まる卒田地内

市道神代・西明寺線の危険箇所整備は どうなっているか

市民クラブ 伊藤 邦彦 議員



市長

改良工事は直ぐには難しいが
条件が整ったところから整備していく



■整備が待たれる市道神代・西明寺線



■子どもたちの集団登校

**市道神代・西明寺線
道路改良工事に関する
要望書が提出されて
いるが、現在の状
況はどうか**

質問 市道・神代・西明寺線は西明寺小学校に通じる道路で、しかも交通量が多い。車の速度制限やグリーンベルト、ガードレール、横断者用信号機の設置はできないか。

答弁 平成28年12月1日に、地元の皆さんからも要望書をいただいている。その時から

計画的な準備が必要と回答したが、幾つかの条件が整ってきた。先日は仙北市通学路安全推進協議会の現地点検もいただいた。車の速度制限について、また国道105号と市道の交差点への横断者用信号機の設置については、いずれも秋田県公安委員会の管轄だが、仙北警察署を通じて設置要望書をする準備を進めている。また、グリーンベルトの設置は来年度予算に計上予定だ。ガードレールについては、危険箇所を優先して設置したい。

**スクールバスの運行
について**

質問 スクールバス利用は距離的運用ルールを設けず全ての子どもたちを乗車させ、体力づくり等新たな施策と組み合わせた取り組みはできないか

答弁（教育長） スクールバスの利用については、学校間の統合時に住民との合意形成により、田沢湖・角館（西長野）地区については利用できない児童は、停留所から小学校までの距離が4キロ以上と

なっている。西木・角館（中川）地区は利用地域が指定されている。

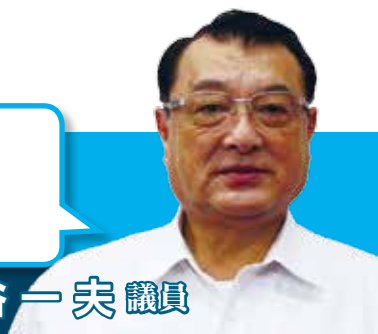
また、このほかの地区についてもスクールバス以外の遠距離通学に対して補助金を出すなど通学困難の解消に努め、不公平感を是正している。近年、車や情報機器端末等の普及により、子どもたちの運動不足がみられ体力低下を招いている。

秋田県では平成13年度から体力低下を打開するため「テクテク・トクトク歩いて学校へ行こう運動」を推進している。学校から歩こう地帯を設置し、自家用車で登校した場合もその区間は歩くように促したり集団登校を励行したりする運動である。本市でも小学校では多くの学校で集団登校を行い、体力の向上に努めている。子どもの安心安全な登下校のためにも、歩道の設置やグリーンベルト等で歩道幅を確保することはとても大切なことである。今後、国や県と連携して環境整備に努める。

（門脇晃幸記）

国の奨学金返還助成事業を活用し 財政負担軽減を

公明党 熊谷一夫 議員



市長 公的資金の活用を教育委員会と協議する

奨学金返還助成事業 の活用及び推進につ いて

質問 仙北市の育英奨学資金は、市内への居住等で返還を免除するゲットバック制度があり、若年層の定住促進に効果を発揮している。市の負担分を国が財政支援する奨学金返還助成事業が昨年6月から運用開始されている。活用しているかどうか。

答弁 質問を受けて、良い制度があることを知った。仙北市のゲットバック制度の安定的な運用に向けて、こうした国の助成制度の活用を教育委員会と協議していきたい。

質問 日本学生支援機構の奨学金について、今年の4月から、企業が社員に代わって返還できる制度が導入されている。企業側にも法人税の優遇や求人PRなどのメリットがあることを市内の企業に紹介し、この制度の導入を働きかけたらどうか。

答弁（教育長） 地元企業は、まだ理解していないと思われるので、市当局とも連携して周知に努めたい。

答弁 コロナ禍で見えてきたことの一つに、子どもたちが

進学で市外に出ても、就職等で戻ってくるというスキーム作りがあり、教育委員会と行政が責任を持って一緒にやるべき仕事だと思っている。

ICT教育の現状と 活用のについて

質問 昨年6月の一般質問での、小・中学生一人1台の端末配備の提案を実現いただき感謝する。そこで、タブレット端末を活用したICT教育の現状と、自宅に持ち帰っての活用実態について伺う。また、現場での教員の反応と取り組みについてはどうか。

答弁（教育長） 現在、すべての小・中学校でタブレット端末を使用した授業が行われている。基本的な使用方法から防災授業、さらに、他校の生徒とのコミュニケーションにも活用されている。自宅への持ち帰りは、現在、端末のセキュリティ強化対策を準備中であり、これが整えば可能になる。

教員は、まだ手探りの部分も多く、今後、市独自の研修会を実施する。

定住人口の増加施策 について

質問 第二次仙北市総合計画にある移住・定住対策に出会い・結婚事業は欠かせないものであるが、これまでの事業の成果と今後の施策について伺う。

答弁 これまで、出会いイベントへの助成が主体だったが、主催する団体や参加者が減少し、成果が上がらない状況にある。今後は、個人で婚活できる秋田結婚支援センターへの登録料を助成するなどの支援を行うとともに、県や各団体との情報共有を積極的に行っていく。

質問 移住・定住対策で、仙北市のテレワーク・ワーケーションの件数を増やし、定住人口の増加を目指しているが、目標ボリューム、情報発信方法及び費用対効果をどう考えているか。

答弁 年間定住人口の目標件数は、



せんぼくワークプレックス
■ Semboku Workplex(わらび座内)のサテライトオフィス

現在の10件から5年後は20件に、人数は、現在の20人から40人を目指している。今年から取り組む事業は、①サテライトオフィス誘致事業②新型モビリティサービス事業③デジタル人材育成研修事業の3本柱でありHPや県、国と連携しIT企業等へ情報発信する。事業費は全体で約4,800万円であり、企業誘致及び新規雇用者を増加させることにより費用対効果を高めたい。

(高橋輝彦記)

3期12年 支援されてきた 関係者に対する思いは

市民クラブ 稲田 修 議員



市長 すべての方々に心から感謝を申し上げたい

門脇市政12年を 振り返って

質問 門脇市政3期12年間に
顧みられた時、感慨深いものがある
と推測されるが、これまで
門脇市政を推進するにあたり、
誠心誠意支援されて来た
関係者に対する思いを伺う。

答弁 3期12年市長職を続け
て来る事が出来たのは、市民、
市議会、ご支援をいただいた
来た後援会や秋田県市長会、
町村会、国会議員、県議会議
員、国の各省庁、全ての方々
のおかげである。また、何よ
り私の政策を実施しようと努
力をいただいた全職員、特に
3人の副市長には心から感謝
を申し上げたい。皆様方の頑
張りがなければ、このような
日を迎える事も困難であつた
と思っている。

質問 門脇市政は公約を通し
て展開されて来たが、この12
年間に於いて、有形・無形を
問わず、市民に対して何を残
す事が出来たと分析されてい
るか。

答弁 私が仙北市のエンジン
になると約束をした。まちづ
くり懇談会や各種座談会、各
団体総会へ参加し、また、コ
ロナ禍以前は市外での活動も

精力的に実施させていただ
いた。このような場面での意見
を、総合計画などに反映させ
ていただいた。私の政治手法
はコミュニケーションが基本
であり、思い描いた12年間に
過ぎさせてもらった。

所得の倍増に繋がる企業誘
致は、仙北市にとって喫緊の
課題であるが、造成した工業
団地への誘致は、在任中に達
成する事は出来なそうであ
り、大変申し訳なく思ってい
る。

医療の分野では、田沢湖病
院の救急の再開は叶わなかつ
た。ヘルスケアツーリズムは、
実験的な取り組み段階から更
に一步踏み出す事が今出来て
いない。なかなか実現出来な
かった事についてお詫び申し
上げたい。ただ、市立角館総
合病院の改築は、現在のコロ
ナ対策を考えると、あのタイ
ミングで改築出来て良かった
と思う。しかし、経営はこの
後も大変な状況が続くと思
う。各診療所や民間機関との
連携を図り、足を留める事無
く医療の再生と健全化に取り
組んで行く事が肝要と思っ
ている。

財政面では、大型建設事業
が一段落した事で、身の丈に

合った予算規模に縮小してい
る時期を迎えたと思ってい
る。前提としてマニフェスト
で示した各財政指標は、義務
的経費、負担率、投資的経費、
実質公債費比率、地方債残高、
将来負担比率、公債費比率な
ど、就任当時と比較し改善出
来た事に少し安堵感を感じて

いる。
多くの事故・事件もあつ
た。この事を過去のものとせ
ず、二度と市民を裏切る事の
無いよう体制を整え、意
識づくりを更に進めて欲し
いと思う。

(田口寿宜記)



■企業誘致の進まない黒沢工業団地



市民クラブ 荒木田 俊一 議員

他地域から人を呼び込める支援の充実を

市長

総合的なワンパックスの支援も協議する

ふるさと就職応援金 及び雇用促進助成事業 費補助金について

質問 ふるさと就職応援金、雇用促進助成事業費補助金は一度きりの単発で、県内外から仙北市の企業に就職や居住に結びつける選択肢としては魅力がない。もっと充実させる必要があると思うがどうか。

答弁 地方での仕事を志望する方々を一人でも多く迎えるにはさらに重層化した支援が必要と思っている。他の事例も参考に、効果的で強力な制度設計に取り組みたい。就業と雇用、住宅対策などの総合的なワンパックスの支援も関係部で協議を始めたい。

医師等修学資金貸与 事業について

質問 医師等修学資金貸与事業の実績や就労状況はどうなっているのか。返還される事例もあるようだが対策は。また、施行規則で申請書の提出期限は毎年市長が定めるとなっているが、はっきり定めるべきではないか。

答弁 令和2年度まで医師10人をはじめ計31名に貸与を行

い、医師1人、ほかで計16人の就労があり現在8名に貸し出し中である。返還した方が7件あり、平成22年からの事業でまだ医師1名の実績で残念な思いである。

現在、貸与後の病院施設見学を実施し、個別の現状報告や就労の相談等を実施し、つながりを強化している。また、秋田大学で初期研修中が3名、医局に2名が居り医局との受け入れ調整中である。申請書の提出期限は定める方向で検討させていただきたい。

農業政策について

質問 県では農業法人の支援について、面積や売上げ規模で差別化をするような動きがあるようだが事実か。もし有るとすれば市内でも大きな影響を受けると思うが対応策は検討しているのか。

答弁 県の第3期ふるさと秋田農林水産業ビジョンが、令和3年までで次期に向けて成果と課題の検証中であり、まだ議論に至っていないと聞いている。国や県の方からすると強力な法人をつくっていく考えは理解できない。

市内では圃場整備も進み農業法人は着実に増えている。

地域農業が次代に継承されていくためには、経営体質の改善、人材の確保が必要であり、法人の連携や統合といった組織編成による新たな形での継

承を進める必要がある。県と情報を共有し取り組みを支援していく。

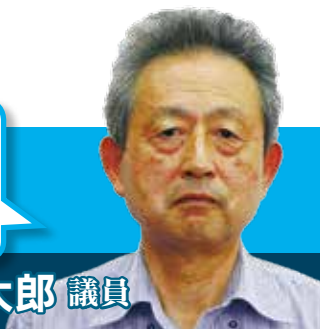
（荒木田 俊一 記）



■どうなる農業法人への支援

観光資源を活かす課題は何か

蒼生会 八柳良太郎 議員



市長 素材はあるが観光業に料理しきれていない

観光資源の活かし方について

質問 観光資源を活かすのにクリアする課題は何か。

答弁 全国から羨ましがられるほど観光資源が豊かな自治体である。素材はあるが、温泉・武家屋敷・田沢湖・伝統芸能等々を観光業に料理しきれていない。市民の一人一人が観光業を支える自覚が必要と思う。

質問 お土産屋さんへの支援が薄いのではないか。

答弁 県事業の宿泊業にお土産屋さんの領域を含めるという改善は難しい。

質問 今年の観光の県外客の人数、金額の比率は。

答弁 今年の桜まつりの観光客は、例年140万人だが、34万2千人だった。当市のまるごとお土産券の状況は、2万1,765枚で1,555万8,500円の売り上げである。昨年の県のまるごとお土産券は3万枚、2,988万9,000円の売り上げである。県内74.27%県外12.84%の比率である。

質問 観光創生事業への参加事業者数、販売実績等は。

答弁 参加事業者は100

社、参加率83.0%販売実績891万4,000円である。

質問 外町では西宮家が3時で券の販売が終わるが長くできないか。

答弁 西宮家は市の指定管理施設なので社長と相談したい。

質問 チラシの内容を理解していない人が多い、周知徹底できないか。

答弁 参加店舗等で積極的な説明をお願いするのが有効と思う。観光協会と対策を進めていきたい。

観光産業の中の物産販売の支援について

質問 同じ仙北市で物産を販売し、地域の活性化に頑張っているが負担に差が出ているのはなぜか。

答弁 各施設の使用料の負担額については、施設の目的、地域の役割、経済情勢等の要因を考慮して定められている。実情に適した使用料負担について関係者から意見を聞きたい。

質問 むらっこの会の決算状況はどうか。

答弁 平成29年度から令和元年度は、3千万円前後の売上げが、令和2年度は2千万

円前後とコロナの影響で落ちている。施設手数料は、95万円が令和2年度は約62万円となっている。伝承館とそんなに違いはない。

質問 むらっこ物産館を冬場も開いて通年観光に挑戦すべきではないか。

答弁 冬場の販売する農産物の調達が困難で、駐車場の除雪経費も厳しく現実には難しい。



■赤字脱却できるか物産販売（伝承館内）

質問 鹿角市・天童市・奥州市・蔵王町の施設使用料等が無料又は低額である。家賃（榊細工伝承館内）を見直し、角館町物産協会の負担を軽くして多額の累積赤字から抜け出せるようにすべきではないか。

答弁 令和元年度は使用料率を半分に減額し、令和2年度も同率にしている。今後、経営状況が悪化した際には負担軽減を図りたい。

質問 条例で6%となっている根拠は。

答弁 昭和53年伝承館開館当初は使用料率7%で合意。平成3年に使用料見直しにより6%、上限500万円に改正。平成4年に消費税施行により6.18%に改正し現在に至っている。

仙北市財務規則での貸付料は、公有財産台帳価格の100分の8.4を乗じて得た額との規定があり、現在の使用料率は他の施設より低率である。

今後、経営状況が悪化した場合は、その時点で、減率及び免除等を検討する。

（熊谷一夫記）

新型コロナ 新たな経済対策を求める

蒼生会 高橋

豪 議員

市長

早急に支援策をまとめ予算化する

門脇市政12年の検証
と今後の在り方を問う

質問 市民所得10%アップを掲げ、農業振興と6次産業化、観光ブランドの構築による外貨獲得、企業誘致等様々な取り組みを行ったが、その成果についてどのように分析しているのか。

答弁 平成20年の1人当たり市民所得は170万円だったが、その後、平成30年には227万円となり約32%増加した。しかし肌感覚として、むしろ厳しさが増していると感じている市民が大多数だ。農業分野では、

水稲については厳しい状況が続いているが、小規模農家の支援も同時に行いながら、大規模圃場整備を進め、圃場の大区間化や畑地化、農地集積による農業生産性の向上、生産コストの縮減等を進めてきた。また、観光分野では、新ブランドの構築、体験型・滞在型への転換、アジア地域や世界に向けた商品化

等で年間観光客入り込み数600万人、宿泊客数80万人を目指した。国家戦略特区を活用し、一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会を中心としたグリーンツーリズムへの取り組み、国のインバウンド戦略に呼応した受け入れ環境整備、3観光協会の統合による体制の強化等は実現することができたが、目標数値は達成していない。そもそも現状で入り込み数という評価基準が以前に比べてどれくらい



■規模拡張したストロベリーファーム

の意味を持つのか、冷静に考えるときではないかと思う。企業誘致に関しては、造成した工業団地への誘致がかなわず、改めてお詫びする。一方では、市内における宿泊施設の開設、ストロベリーファームのイチゴ栽培、ツムラと連携した薬草作物栽培、また地元企業の規模拡張等に対し支援を行うことができた。地元雇用対策で成果があったことは間違いない。

質問 若者の雇用確保や所得向上、定住と子育てに関する支援等の取り組みの成果を問う。

答弁 定住促進に関しては、空き家バンクの創設や、新婚世帯への家賃助成事業、マイホーム取得助成等に取り組みできた。子育て世帯を含む若者の流出抑制に効果があったと感じている。また、認定こども園の整備や、公園の遊具設置、在宅での子育てサポート、福祉医療制度の拡充などを行い、支援に努め一定の成果を得ている。

新型コロナ市内事業者への支援を

質問 新型コロナにより市内経済は相当に疲弊しており、

特に飲食・宿泊業をはじめとし、関連のあらゆる事業者がこの状況に苦しんでいる。速やかな支援を求める。

答弁 観光関連では、昨年度から国や県などの事業に上乘せをする形、また国や県等の事業でフォローしきれない施策を補う形で、宿泊支援、土産屋関連、物産のネット販売の促進の他、コロナ後を見据えた施設改修支援、非接触決済などへの誘導などを進めてきている。また、関係団体等々と連携しながら、プレミアム観光支援事業によるお土産券の展開やプレミアム宿泊支援事業を実施していきたい。見通しの立たないコロナ禍だが、6月議会でも可決して頂いたプレミアム宿泊支援の第2弾を秋以降の対策として今議会の補正予算に計上した。また、議員が指摘した飲食店を始めとした事業者への支援策については、現在プレミアムを作成中だが、今後、早急に予算化する予定である。

(高橋 豪 記)

総務文教常任委員会

75歳以上の高齢者世帯に火災警報器を設置

8月定例会の総務文教常任委員会では、押印を廃止するための関係条例の改正や令和2年度の決算認定、令和3年度の補正予算について審査されました。補正予算では、旧角館庁舎解体工事関連や空き家対策などが議論されました。

令和3年度一般会計補正予算 主な内容

田沢交流センター運営管理費	488万円	田沢交流センター体育館の照明設備の交換（LED化）
公共施設等マネジメント事業費	572万円	旧角館庁舎解体における給水管及びアスベスト処理費の増額
地域公共交通対策費	85万円	内陸線中村踏切の安全対策費（注意喚起の路面カラー塗装等）
危険空き家対策費	200万円	空き家の解体増加による補助金の増額
高齢者世帯火災警報器設置事業費	179万円	火災警報器が未設置の75歳以上の世帯に設置する経費
修学旅行費支援事業費補助金	48万円	コロナ対策による貸切りバス利用の小規模校への補助等
小・中学校保健特別対策事業費	920万円	コロナ感染対策費（マスク、消毒液、パルスオキシメーター等の購入）

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

旧角館庁舎 解体工事について

質問 旧角館庁舎解体工事は、想定以上のアスベスト処理などで工期は遅れないのか。また、解体工事中に火除け地復元調査を行うようだが、貴重な痕跡が発見されれば工事がストップするのではないか。



■想定以上のアスベスト含有で解体工事費が増額された旧角館庁舎

答弁 現在、工程に遅れが出ているが、11月30日の工期に変更はない。また、火除け地復元調査は、工期に支障を来

たすような調査ではないことを文化財保護室に確認している。

秋田内陸線中村踏切の 安全対策について

質問 今回の補正予算は、道路に「止まれ」の文字ペイントと、注意喚起のカラー路面塗装を実施することなどが、見通しの悪い上り方面の樹木の伐採と空き家の解体は含まれていないのか。

答弁 含まれていない。樹木の伐採は事故直後に地元の有志の方々がかなり広く伐採してくれた。内陸縦貫鉄道は、中村踏切への遮断機設置に向けて、来年度の国庫補助事業に手を上げており、採択され

る可能性が高い。その際は仙北市での負担金が想定される。

危険空き家対策について

質問 最近では荒廃している空き家が多く、中には外壁が剥がれ、家の中のベッドや布団などが丸見えで風雨にさらされている家もあるが、家の中の物を市が処理することはできないか。

答弁 家の中の物は財産であり、市が処分することはできない。道路などに飛散した場合の処理している。巡回パトロールを強化し、近隣に迷惑を及ぼしている状況があれば、可能な範囲で対応していく。

令和2年度 一般会計決算認定審査 総務文教分科会の質疑から

質問 GIGAスクール構想により、小中学生一人1台のタブレット端末が配備されたが、扱い方に個人差が出てくると思われる。家庭に持ち帰らせて、いつでも親と一緒に練習ができるようにさせてはどうか。

答弁 昨年度末に試験的に家庭に持ち帰らせてテストしたが、有害サイトを見ってしまう事象が散見された。6月補正で承認された、有害サイトをブロックするフィルタリングソフトのインストールを準備中である。これが整備できれば、家庭への持ち帰りが可能となり、学校閉鎖時や不登校の児童生徒が家庭で使用するなどの幅広い活用が考えられる。

市民福祉常任委員会

来年4月から法人運営となる角館こども園 譲渡に向けて設備の不具合箇所を修繕

8月定例会の市民福祉常任委員会では、令和3年度一般会計補正予算・令和2年度決算について審査されました。順調に進んでいる新型コロナウイルスワクチン接種に必要な諸経費が計上されました。

令和3年度一般会計補正予算 主な内容

せんぼくこまくさプラン事業費	33万円	コロナ禍の経済支援として、生理用品を一般市民向けに無償配布する費用
ひとり親家庭福祉事業費	150万円	仙北市ひとり親家庭等住宅整備資金貸付の費用
認可保育園等管理費	147万円	中川保育園職員室床修繕、角館こども園設備不具合箇所の修繕費用
保育園入所待機児童等支援事業費補助金	15万円	認可保育園待機児童の解消を図るための補助金
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	195万円	ワクチン接種にかかる消耗品費と予防衣の費用

令和2年度病院事業会計決算を認定 厳しい病院経営を議論

賛成討論 市立田沢湖病院は、医師1名の増が入院患者や受け入れ増加に繋がり、市立角館総合病院は医師の減が収益減に繋がっている。医師の充足が課題である。両病院とも不採算地区の病院指定により、特別交付税措置の新設や拡充、元利償還金の減少があり、一時借入金も減少している。両病院合わせて、一般会計からの繰り入れ10億9千万円、交付税参入が7億7千万円、純繰り入れは約3億2千万円である。

一般会計からの繰り入れ減少に更なる改善を求める。

コロナ感染症対応として、発熱外来の開設、コロナ患者の受け入れ、検査治療等実施している医療従事者の皆さんの、感染不安と対峙しながらの対応に感謝と敬意を表する。

経営安定に向けた取り組みに今後も期待したい。



■医師の充足が大きな課題の角館総合病院

令和2年度 市立病院事業決算

(単位：千円)

	角館病院	田沢湖病院	合計
医業収益	2,856,476	635,017	3,491,493
医業費用	3,735,276	862,962	4,598,238
医業利益	-878,800	-227,944	-1,106,745
医業外収益	567,451	284,173	851,624
医業外費用	144,156	38,915	183,071
経常利益	-455,505	17,313	-438,192
特別利益	92,415	5,673	98,088
特別損失	66,700	4,450	71,150
純損益	-429,790	18,536	-411,254

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

せんぼくこまくさプラン事業費について

質問 125人分を想定しているようだが、カード交付者はすでに114人となっている。今後、さらに増えるのである。

ひとり親家庭福祉事業費について

質問 償還はどのようになるのか。

答弁 貸付けの利率は、年0.1%で、年2回の見直しがある。所得税非課税世帯は無利である。

保育園入所待機児童等支援事業費補助金について

質問 待機児童は何人か、対象となる児童の年齢は。認可保育園での受け入れはできないのか。

答弁 0歳児1名である。今のところ空きがない。

産業建設常任委員会

コロナ経済支援！「仙北市プレミアム宿泊券」第2弾発行！！

8月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和3年度一般会計補正予算や令和2年度一般会計歳入歳出決算認定及び令和2年度の温泉・水道・下水道事業決算について審査されました。補正予算では、今冬期の除雪関連経費が計上されました。

令和3年度一般会計補正予算 主な内容

低コスト技術等導入支援事業費補助金	5,325万円	スマート技術等を活用した省人化、低コスト化への機械設備の導入支援
農地集積加速化基盤整備事業費	1億1,166万円	生保内南地区中心経営体の農地集積促進に対する交付金
2021 仙北市プレミアム宿泊支援事業費	1,076万円	県民を対象に市内宿泊施設の値引券を発行する事業
雪寒地域建設機械整備費	△6,141万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
道路新設改良費	△1億2,023万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
冬期交通対策費	4億3,178万円	冬期間における道路の除排雪関連費用

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

低コスト技術等導入支援事業について

質問 補助率50%で市内3法人が対象とのことだが、ほかに要望する法人はなかったのか

答弁 当初は5法人であったが、補助要綱の条件を満たした法人が3法人である。なお、この予算は、県への要望額であり、交付決定を受けているものではない。

2021 仙北市プレミアム宿泊支援事業について

質問 県民割との併用は可能か又、県との連携はどうなっているか。

答弁 現在稼働している県民割との併用は可能である。秋冬以降の県の観光施策については、県の観光振興課、観光戦略課とも情報交換を行っている。

社会資本整備総合交付金について

質問 減額補正額が大きく、事業に支障をきたしているのではないか。減額に対する対応策はないのか。

答弁 この交付金事業は配分率が低く、予算編成には苦慮している。当該交付金により進めている事業において、住民の皆さんが期待するスピードで事業を進めることができない実情にある。しかし配分率が高い年度もあることから、予算要求は継続して行っている実情である。財源確保のため、今後も予算要求は継続することをご理解願いたい。

令和2年度 公営企業会計決算認定の主な質疑

温泉事業

質問 温泉使用料減額に向けた取り組みはどうなっているか。

答弁 塚本総業所有の水沢源泉からの温泉購入に伴う温泉使用料の減額については「検討させて頂く」との回答を頂いたものの、こちらが期待する改善には至っていない状況が続いている。

水道事業

質問 給水原価が前年度より上がった要因、将来人口を含む予測及び事業経営のあり方はどうなっているか。

答弁 給水原価上昇の要因は各業務委託費及び人件費の上昇である。将来人口は緩やかに減少する見込で厳しい経営状況が続く。今後水道運営審議会にて検討して頂き適正料金について来年度中の改定へ向け取り組んでいる。

下水道事業

質問 繰入金が多くなっている状況を改善する抜本的な今後の方針はどうなっているか。

答弁 下水道事業は設備投資に多くの経費を要する事業である。全国的な月使用料平均が3,000円/20㎡で仙北市は2,500円/20㎡である。この使用料を実態に即して適正化する必要がある。現在、コンサルタントに依頼し検討している。その検討に基づく対応により一般会計からの繰り入れを少なくし収支の改善に努めたい。

令和2年度 特別会計及び公営企業会計決算認定される

(単位：千円)

会計名	事業名	収入	支出	収支差引額	企業債残高
公営企業会計	温泉事業	58,222	53,489	4,733	113,958
	水道事業	473,886	585,026	-111,140	3,623,287
	下水道事業	885,660	911,761	-26,101	6,317,681

第5回臨時議会開催される(9月17日)

一般会計補正予算(第6号) 補正額1億1,337万円を可決 累計215億8,492万円に

9月17日に第5回臨時会が開催され、令和2年度にコロナ禍により減収となった事業者を支援する、仙北市経営維持支援金給付事業などを盛り込んだ令和3年度一般会計補正予算(第6号)が審議され、賛成多数で可決されました。また、県議会議員の補欠選挙に立候補する高橋豪議員と田口寿宜議員から辞職願が提出され、本会議で許可されました。

■第5回臨時会における一般会計補正予算(第6号)の内容

秋田県議会議員補欠選挙費	1,523万円	10/1 告示、10/10 投開票の県議会議員補欠選挙費用
仙北市経営維持支援金給付事業費	1億257万円	20年度の売上が18年度より20%以上減少の事業者に10万円給付
仙北市学校給食応援事業費	443万円	小・中学校の給食費を11/30まで無料にする費用

- ◆仙北市経営維持支援金給付事業は、2020年度(昨年度)の売り上げが2018年度と比較して、20%以上減少した市内事業者に支援金として10万円支給します。業種は問いません。(但し、農家は青色申告者が対象です。)
- ◆小・中学校の給食費無料については、6月補正予算で、7月から10月まで無料にしましたが、コロナ感染防止対策で休校した学校があったことから、1ヶ月間、無料期間を延長しました。
- 議員から、経営維持支援金について、コロナの影響による、今年度の生産者米価の大幅な下落に対する農家の支援を検討しているのかとの質疑があり、当局から、国、県の動向も見て検討したいとの答弁がありました。

■高橋豪議員、田口寿宜議員の辞職に伴う常任委員会の異動

【議会運営委員会】委員長 小木田 隆 副委員長 真崎 寿浩 委員 武藤 義彦
【総務文教常任委員会】委員長 高橋 輝彦 副委員長 武藤 義彦

いきいき広場

この人に聞く
清水洋衛さん

市民福祉部

新型コロナウイルスワクチン接種推進室長に聞く

新型コロナウイルス緊急事態宣言が21都道府県に発令中で、生保内小・中学校、角館小学校が休校となっている。(9月7日現在)市内の感染者は、推定で約50名となり、今後の感染拡大が懸念される。その中で、感染拡大の切り札となるワクチン接種の進捗状況と今後の対策について、新型コロナウイルスワクチン接種推進室長の清水洋衛さんにお聞きした。

ワクチンは第4クール(集団接種最終)まで確保しており、10月30日に終える予定である。接種状況は、65歳以上の方の88%が終了しており、12歳以上の全市民の8割が終える。

接種後の副反応では会場内で倒れた方が今まで2〜3名。痛みが残った、熱が上がったといった方が多かった。迅速に対応した。

推進室スタッフは23名でインターネット予約に4名の計27名である。

一般的には6割接種されれば集団免疫効果が表れるとされており、今後も収束に向けて、医師・看護師・医療スタッフと連携して頑張っていきたい。デルタ株による感染拡大も予測されるので、油断せず、マスク・三密・手指消毒の励行をして、ウイルスを抑え込んでいければと考えている。

【取材後記】

ワクチン接種に、真剣に取り組んでいる姿勢を伺う事が出来た。無事故で終了し、一日も早い日常活動の再開と観光・経済活動の賑わいを取り戻して頂きたいことを願うものである。

(熊谷一夫記)



■ワクチン接種会場
(角館交流センター)

編集後記

市長の4期目の不出馬宣言下での8月定例議会。一般質問は、これまで門脇市政12年間の評価や、やり残した点など、次につながる内容が多かったように思います。答弁によつては、質問者から、「まだまだやる気があるのでは」と笑みを誘うような場面もありました。門脇市長の行政の連続性を根幹に据えた税の問題への対応、予期せぬ自然災害、人身事故等への対応が印象深く残っています。

一つの駒が動くことにより、いくつもの駒が動くことを目の当たりにした昨今、議会の議員構成にも変化が生じます。「目線はどこに」。主人公は誰か。の問いかけを忘れず、これからも精進したいと思っています。

次期定例議会の光景は、未知ですが、仙北市の更なる発展に議論を深めたい思いは共通していると確信します。

(平岡裕子記)